

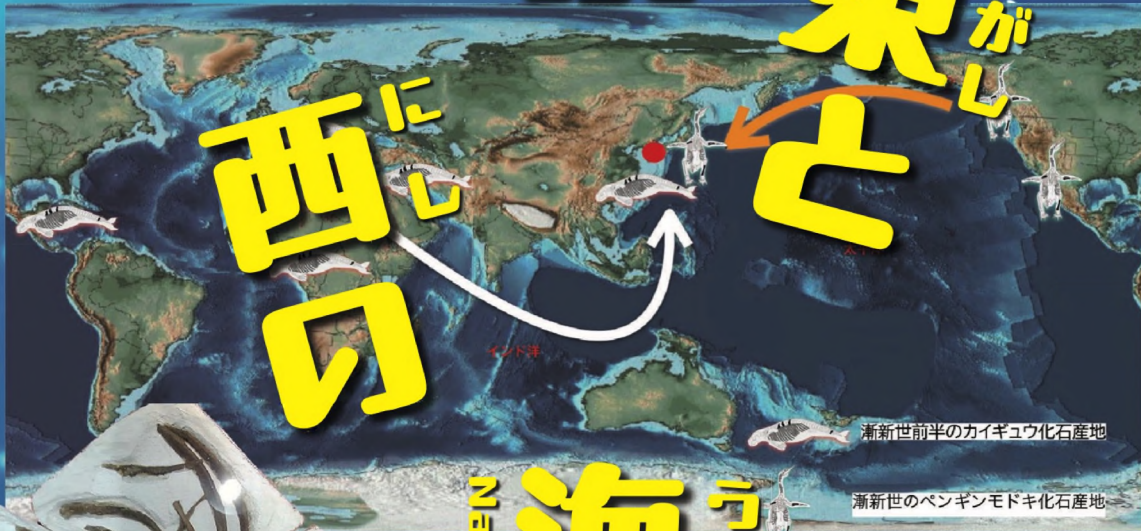
西の海からやってきたカイギュウ

6/20 (木)
▼
9/1 (日)

ながさきけん
長崎県

夏の特別展

東の海からやってきたペンギンモドキ



西の海

東の海

漸新世前半のカイギュウ化石産地

漸新世のペンギンモドキ化石産地

EarthByte による画像を編集・追記 (CC-BY-SA 4.0)



うみ
海の動物化石
どらぶっかせき
Nagasaki, Fossils from the East and West

約 3,300 万年前
太平洋で最も古い
カイギュウの化石です

The oldest sea cow fossil in the Pacific

佐川地質館 ジオファンタジックルーム

入館料 / 大人 300 円、小中高生 100 円

開館時間 / 9 時 ~ 17 時 (入館は 16 時 30 分まで)

休館日 / 月曜日 (祝日と重なる場合はその翌日)、年末年始 (12 月 29 日 ~ 1 月 3 日)

主催 / 佐川町教育委員会

後援 / 西海市教育委員会・福井県立恐竜博物館

写真提供: 西海市教育委員会

佐川町立佐川地質館

〒789-1201 高知県高岡郡佐川町甲 360

TEL 0889-22-5500



地質館ウェブサイト



ペンギンに
そっくりな
巨大海鳥が
日本にいました
Giant penguin-like bird in Japan

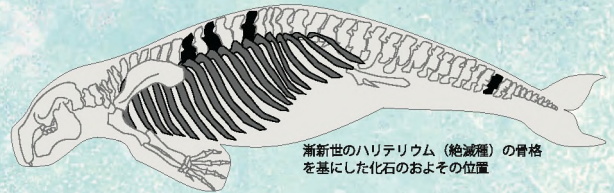
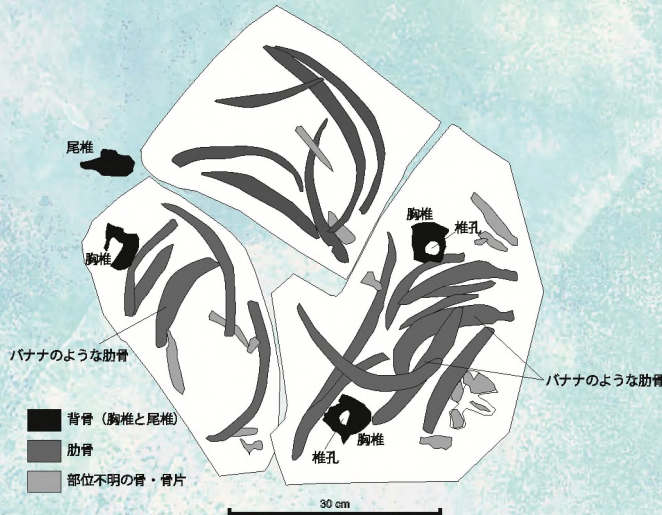
佐川地質館
Sakawa Geology Museum and Institute

カイギュウとは？

カイギュウ（海牛）は浅い海や河川で暮らし、植物を食べる哺乳類です。前あしはヒレで、後ろあしはなく、尾は上下に動くヒレになっています。分類上は「海牛目」というグループの動物であり、ジュゴンやマナティーがこの仲間です。

どこにいる？何を食べる？

現在のカイギュウたちは暖かい海や河川を中心に暮らしています。ジュゴンは東アフリカからインド洋、西太平洋にかけての熱帯や亜熱帯の浅い海で暮らし、沖縄は分布域の北限となります。マナティーは大西洋の沿岸域（西アフリカ、中米、南米北東部）の浅い海と、それらに流れ込む河川や湖で暮らしています。ジュゴンとマナティーはとても似ていますが、尾のヒレを見ても簡単に見分けることができます。ジュゴンは浅い海の海底に生える海草を根本から食べます（ワカメなどの海藻ではなく、海の中で花を咲かせる種子植物）。マナティーは水草や水辺の陸上の植物を食べます。

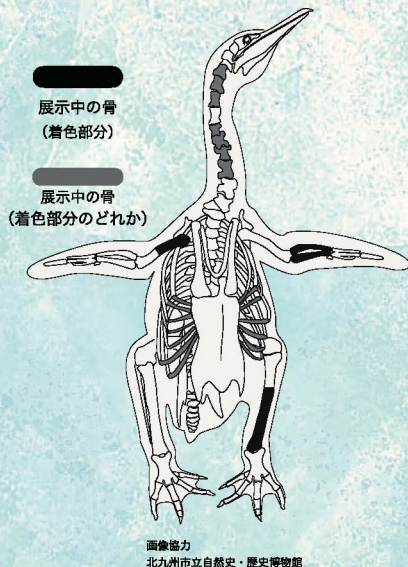


何の化石だろう？

このカイギュウの化石は44年前（1980年）、当時中学生だった加藤敬史（たかふみ）倉敷芸術科学大学教授が、西海（さいかい）市の海岸で発見しました。化石は砂岩に保存された複数のまとまった骨で、崎戸（さきと）歴史民俗資料館に選ばれます。しかし、化石のクリーニングは長らく行われず、正体不明のままでした。

ペンギンモドキとは？

ペンギンモドキは、今からおよそ3,400万年前から1,800万年前の北太平洋の沿岸域に住んでいた、鶇（ウ）の仲間の鳥類です。今のペンギンにそっくりな姿をしていたと考えられていることから、このように呼ばれています。



何の化石だろう？

今回展示しているペンギンモドキの化石は、佐川地質館森 浩嗣（ひろつぐ）学芸員が、西海市で2016年に発見したものです。



長崎といえば、江戸（えど）時代に西洋との交易の窓口となった出島や、かくれて宗教弾圧（だんあつ）にたえた「かくれキリシタン」の遺産など、西洋と日本との交流の歴史で有名ですが、実は化石もよく見つかる土地です。長崎市の北にある西海市には、今から約3,300万年前の地層が広がっています。この地層から、太平洋最古となるカイギュウの化石が発見されたことが、去年の3月に報道されました。カイギュウは、今生きている動物ではジュゴンやマナティーの仲間、今のアフリカや地中海辺りでおよそ5,600万年前に生まれたと考えられています。また、近くの地層からは「ペンギンモドキ」と呼ばれる、ペンギンにそっくりな姿をした鶇（ウ）の仲間の化石も見つかっています。こちらは北アメリカの太平洋岸で3,300万年より少し前辺りに誕生したのではないかと考えられています。日本が西洋に出会った土地、長崎は、はるか昔も西からやってきたカイギュウと東からやってきたペンギンモドキが出会う場所であったようです。

Nagasaki is famous for its historical interactions between Western countries and Japan. Moreover, Nagasaki is also a land where fossils are frequently discovered. In Saiwai City, located in the north of Nagasaki City, are geological layers dating back approximately 33 million years. In March, 2023, news reported the discovery of the oldest Pacific dugong fossil from these layers. Dugongs are believed to have originated approximately 56 million years ago around Africa and the Mediterranean. Additionally, nearby layers have yielded fossils of birds known as 'Penguin-like bird' which closely resembles a penguin. It is thought that this bird emerged on the Pacific coast of North America before the 33-million-year ago. Nagasaki, a place where Japan met the West, appears to have been a meeting ground for ancient dugongs from the West and penguin-like birds arriving from the East.